

第2回京都文学賞 (令和2年度)

作品・読者選考委員募集

きょうを照らす、ことばの灯り

作品

京都を題材とする未発表の「小説」を募集(ジャンル不問)

▶ 令和2年9月14日(月)まで

応募区分「一般部門」「中高生部門」「海外部門」「一般部門」最優秀賞 賞金100万円, 出版化

最終選考委員 いしいしんじ(作家), 原田マハ(作家), 校條剛(評伝作家), 読者選考委員の代表 ほか

読者選考委員

作品選考に加わる方を一般公募(10名程度)

▶ 令和2年7月31日(金)まで



主催 京都文学賞実行委員会(京都市, 京都新聞, 一般社団法人京都出版文化協会 等)

協力 京都府書店商業組合, 文化庁地域文化創生本部, KADOKAWA, 河出書房新社, 幻冬舎, 講談社, 集英社, 新潮社, PHP研究所, 文藝春秋

後援 京都市教育委員会, 大学コンソーシアム京都

京都文学賞

Kyoto Literature Award

第2回京都文学賞の実施に向けて

「世界文化自由都市宣言」40周年を契機に、文学の更なる振興とともに、京都の歴史と幅広い魅力の再認識、「文化都市・京都」の更なる発信につなげるため、昨年4月、京都文学賞は創設されました。第1回募集では、一般・中高生・海外の3部門で計537点の作品、定員40名に対し87名の読者選考委員の御応募を頂き、一次、二次、最終選考を経て、一般・中高生部門の受賞作各2作品及び海外部門の奨励作2作品が選定されました。一般部門の受賞作2作品は協力出版社からの刊行が予定されています。

今回も、本募集要項により、「京都」を題材とする小説と選考に参画いただく読者選考委員を募集します。

大きな困難に直面するいま、これまでの枠にとらわれない、皆様の「京都」を描いた物語をお寄せください。ことばの力で、新たな希望のあかりを灯すような作品を心からお待ちしています。

作品募集要項

募集作品

- 京都を題材とする「小説」とし、純文学、時代小説、ミステリー等ジャンルは問いません。
- 日本語で書かれた自作の作品で、未発表のものに限ります。
※インターネット上で掲載された作品や、同人雑誌、自費出版物等で発表された作品については、営利を目的としていないもの限り、未発表とみなし応募を受け付けます。その場合、必ず掲載又は発表した媒体名を明記してください。
- 他の文学賞との二重投稿及び過去に入選した作品の応募は禁止します。
- 第三者の著作権、その他の権利・利益を侵害したり、そのおそれがない作品に限ります。
- 文献や資料などを引用した場合、その出典を必ず明記してください。

応募区分・資格

- 「一般部門」「中高生部門」「海外部門」の3部門を設け、プロ・アマを問わず、全国から作品を募集します。海外からの応募も受け付けます。
- 「海外部門」については、留学生をはじめ外国籍を有する方を対象とします。
- 「一般部門」については、年齢・国籍を問わず、高校生以下の方や外国籍の方も含めどなたでも応募することができます。

応募規定

- 作品分量 ※ルビ、注釈、参考文献は文字数に含みません。 ※一般部門・海外部門は手書き原稿不可

一般部門 28,000字以上160,000字以内

中高生部門 ● 手書き原稿の場合 400字詰(20字×20行)原稿用紙で、20枚以上150枚以内
● パソコン原稿の場合 400字詰(20字×20行)原稿用紙に換算し、20枚以上150枚以内
※提出原稿は以下の書式(30字×40行)を使用のこと

海外部門 8,000字以上60,000字以内

● 原稿の書式

パソコン原稿 A4判、横長、マス目なし/30字×40行/縦書き ※専用サイトからダウンロード可

手書き原稿(中高生部門のみ) A4判、横長/400字詰(20字×20行)原稿用紙/縦書き
※消せるボールペンや鉛筆での記入は不可。濃くはっきりと読める字で丁寧に記してください。

- 作品本文ページの左下に通し番号(ページ番号)を入れ、郵送の場合は右肩をクリップで綴じてください。 ※ホッチキス留めは不可

応募方法

- 応募方法はWEBの応募フォーム(専用サイトに設置)又は郵送のいずれかとします。

WEBで応募する場合 ● 応募フォームに必要な事項を入力の上、作品及び右記の表紙1枚目(あらすじ等)を添付し提出してください。
● 作品のファイル形式はWord又はPDFで添付してください。

郵送で応募する場合 作品原稿の上に、右記の表紙1枚目～3枚目を添えてお送りください。

- 表紙1枚目～3枚目(専用サイトからダウンロード)に記載する必要事項

[表紙1枚目]

- 応募区分
※中高生部門は学年、
海外部門は国籍も記載
- タイトル
- あらすじ(800字以内)

[表紙2枚目]

- ペンネーム(ふりがな) ※ペンネームがない方は、本名
- 作品のジャンル(純文学、ミステリー、ホラー、SF、ファンタジー、歴史、時代、青春、恋愛、その他)
- 作品の総文字数(中高生部門は、400字詰(20字×20行)原稿用紙換算枚数)
- 略歴(学歴、職歴、筆歴など)
- 生年月日(西暦で記載)【任意】
- (応募作品の掲載歴等がある方のみ)掲載したURL又は発表した同人雑誌、
自費出版物等の名称

[表紙3枚目]

- 本名(ふりがな)
- 住所
- 電話番号
- Eメールアドレス
- 性別【任意】
- 職業【任意】
- 京都文学賞を知った方法【任意】

応募締切

令和2年9月14日(月) 消印有効

※WEBの応募フォームの場合は14日23:59まで有効

最終選考委員

いしいしんじ(作家)、原田マハ(作家)、校條剛(評伝作家)、
読者選考委員の代表、主催者の代表

賞の内容

一般部門 最優秀賞1点:賞金100万円, 出版化
優秀賞1点:賞金50万円

中高生部門 最優秀賞1点:図書カード10万円分
優秀賞1点:図書カード5万円分

海外部門 最優秀賞1点:賞金10万円

発表

一次選考 令和2年11月上旬頃に、選考結果を専用サイト上にて発表します。

二次選考 令和3年1月頃に、選考結果及び簡易な選評を専用サイト上にて
発表します。

最終選考 令和3年2～3月頃に、受賞者へ直接通知するほか、
選考結果及び選評を専用サイト等で発表します。

表彰式・交流会

令和3年3月(予定) 京都市内の会場にて、受賞者のほか、選考委員や出版社等を招いて実施します。

注意事項

- 応募は一人一編とします。
- 応募後の作品の訂正、返却依頼は受け付けません。
必要があれば予めコピーしておいてください。
- 作品の選考に関するお問合せには応じられません。
- 応募により得た個人情報については、本文学賞に関する
もの以外には使用しません。

応募作品の著作権等

- 応募作品の著作権は応募者に帰属するものとします。
- 受賞作品については、そのあらすじや作品の一部を主催者のホームページや新聞、
その他の発行物において掲載することがあります。
- 一般部門の受賞作品の出版権は、京都文学賞実行委員会事務局及び協力出版社と
協議のうえ、決定するものとします。
- 選考及び記録に必要な範囲で主催者において応募作品を複製することがあります。

最終選考委員から

いしいしんじ(作家)

京都は昔から、物語でできているような、まちが人を通して、言葉を語って、自らを表してきたところがあります。

新しい方が、僕たちの時代にふさわしい京都をどのように語ってくださるのか楽しみでなりません。素晴らしい作品の投稿と受賞を心から待ち望んでいます。



京都大学文学部仏文学科卒。1994年『阿姆斯特ダムの犬』でデビュー。『麦ふみクーツェ』(坪田譲治文学賞)、『ある一日』(織田作之助賞)、『悪声』(河合準雄物語賞)など著作多数。2019年9月『マリアさま』刊行。

原田マハ(作家)

第1回の選考で、京都が舞台の彩りに富んだ様々な物語を楽しみました。自分には書けない個性あふれる小説を創作してみてください。皆さんの挑戦を楽しみに待っています。



関西学院大学文学部日本文学科、早稲田大学第二文学部美術史科卒。2005年デビュー作『カフーを待ちわびて』で日本ラブストーリー大賞を受賞。『楽園のカンヴァス』(山本周五郎賞)、『異邦人』(京都本大賞)など著作多数。2020年3月最新作『<あの絵>のままで』刊行。

めんじょう つよし

校條剛(評伝作家)

この賞は他のどの新人賞とも違った特徴があります。一般の読者の目線から、面白い、優れた小説はどれかと判断する読者選考委員の存在です。もちろん、専門家の読み手も選考に加わります。今回の募集では中高生・外国籍の方々の応募にも期待しています。



早稲田大学第一文学部卒。「小説新潮」編集長時代に、様々な文学賞を創設。2019年3月まで京都造形芸術大学教授。著作に『ぬけられますか 私漫画家 滝田ゆう』(大衆文学研究賞)、『ザ・流行作家』、『作家という病』、『にわか(京都人)宣言』など。

読者選考委員募集要項

役割

- 京都文学賞の各部門(一般/中高生/海外)における一次選考通過作品について、審査基準に沿って選考し、感想を記述していただきます(=二次選考)。※一次選考は、書評家など専門家により実施します。
- 二次選考の終了後、最終選考に参画いただく読者選考委員(数名)を、主催者において選定します。

選考時期及び選考作品数

二次選考(令和2年11月上旬～12月頃) 1人10～15作程度(全読者選考委員が担当) ※担当する作品数は、応募状況により変動する可能性があります。

最終選考(候補作品送付:令和2年12月頃/選考会:令和3年2月頃) 各部門から数作(読者選考委員 数名)

募集人員(予定)

10名程度 ※京都在住に限らず、広く全国から募集します。
※本文学賞に作品を応募される方は、読者選考委員には応募できません。

謝礼

40,000字までにつき500円分の図書カード(1作品上限2,000円)
※最終選考会に出席いただく場合は、別途謝礼をお支払いします。

特典

- 令和3年3月(予定)に京都市内で開催する表彰式・交流会へ御招待(交通費は自己負担)
- 受賞作の刊行本プレゼント(予定)

応募方法

WEBの応募フォーム(専用サイトに設置)又は郵送のいずれかとします。

WEBで応募する場合 応募フォームに必要事項を入力してください。

郵送で応募する場合 以下の事項を記載し、郵送で応募先へ提出してください。※様式は、専用サイトからダウンロード可

- 選考を希望する部門(一般/中高生/海外) ※複数選択可。希望する順番を御記入ください。
- 京都との関わり
- 読書歴(1箇月に何冊程度本を読むか)・筆歴(ある方のみ)
- 好きな小説のジャンル(純文学、ミステリー、ホラー、SF、ファンタジー、歴史、時代、青春、恋愛、その他 ※複数選択をお願いします。)及び好きな作品ベスト5(作品名・作者名)
- 『きょうのできごと』柴崎友香著(河出文庫)を読んでの感想(400字程度)
- 応募理由を含む自己アピール(200～400字程度)
- 住所・名前(ふりがな)・年齢・職業・電話番号・Eメールアドレス

応募締切

令和2年7月31日(金) 消印有効

※WEBの応募フォームの場合は31日23:59まで有効

結果通知

令和2年10月上旬頃までに本人に通知します。

※令和2年10～11月頃に、作品の選考に関する説明会を開催しますので御出席ください。

備考 応募者の選考は、京都文学賞実行委員会が行います。

作品・読者選考委員の応募先

専用サイト

<https://www.kyotobungakusyo.com>

京都文学賞

検索

郵送先

〒604-8567(住所不要) 京都新聞COM内 京都文学賞実行委員会事務局
「作品募集」係 又は「読者選考委員」係



問合せ先

京都文学賞実行委員会事務局(京都新聞COM営業局内)
TEL:075-241-6172(平日午前10時～午後5時)
FAX:075-222-2200
メール:keikaku@mb.kyoto-np.co.jp



京都市
CITY OF KYOTO

本事業は、京都市の宿泊税による税収を活用して実施します。